

日本学術会議公開シンポジウム「海と陸と人と」 開催要項

1. 主催 日本学術会議地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会
2. 共催 日本地球惑星科学連合、地理学連携機構、東京地学協会、アジアの持続可能な土地利用プロジェクト(SLUAS)
3. 日時 平成21年8月21日(金) 13時30分～17時
4. 場所 日本学術会議 6-C(1)(2)(3)会議室
(〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34)

5. 開催趣旨

地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会は平成20年6月に提言「陸域－縁辺海域における自然と人間の持続可能な共生へ向けて」を取りまとめた。陸域－縁辺海域は生産活動、消費活動など人間活動の主要な場であり、食料、鉱物、水、エネルギーなどの資源を提供してくれる場であると同時に、地球環境問題が山積し、大きな自然災害がしばしば起こる場でもある。この提言は、その陸域－縁辺海域における自然と人間の持続可能な共生を実現するための地球情報基盤の整備、実態把握と問題解決のための研究の推進、開発・防災政策と教育の推進等について取りまとめたものである。本シンポジウムは、この提言の実現に向けた活動の一環として計画されたものであり、次代を担う高校生を主な対象として、この提言の内容をわかりやすく広く紹介することを目的とする。

6. プログラム

開催趣旨	青山学院大学教授 岡部 篤行
豊かな海の秘密	北海道大学名誉教授 若土 正暁
地球科学界の新顔メタンハイドレートは善玉か悪玉か？	東京大学教授 松本 良
沿岸海域の汚染と地理情報システム	立正大学教授 後藤真太郎
中国の西部開発フロンティアで起こった四川地震	京都大学教授 千木良雅弘
メコンデルタの洪水と共生する社会	三重大学教授 春山 成子
21世紀の土地の利用と海の利用－まとめにかえて	北海道教育大学教授 氷見山幸夫
[総合司会]	帝京大学教授 滝沢由美子

7. 参加資格、費用

このシンポジウムは一般公開で、参加費は無料です。

問合せ先：

E-mail: himiyama@asa.hokkyodai.ac.jp

Tel. Fax.: 0166-59-1283

氷見山幸夫（地球・人間圏分科会副委員長）